



なんで
いろいろうまく
いかないのかなあ?

運が悪い

だけなんだろう?

「けっこう頑張っているのにどうしてうまくいかないんだろう?」って考えたことありませんか? また、人によって、運がいい、とか、悪い、確かにありますよね? そういったことに、実は『宗教』が関係しているって知っていました?

「宗教」なんて、ただの精神修養か、気休め、怪し気な祈禱や占い、あるいは結婚式や葬式の時だけのもの、だから「宗教は私達の生活にあまり関係がない」と思っている人達がほとんどでしょう。でも、これは大きな誤りで、実は宗教は人生すべてにわたって大きく影響して



たとえば、「商売の神様」などといわれる稲荷信仰をはじめ、畜生を拝む宗教がありますが……



動物を拝むと、人格や行動が動物に似てきます。

いるのです。
「つまり」
「そんな馬鹿なことがあるか!」
「自分は宗教に興味がないから関係ない」
「自分は既に信仰をしているから、これ以上聞く必要はない」とか……いろいろ思われるでしょう? でも
「経験がないから」
「自分の知識では理解できない」「ただ嫌い!」「興味が無い」からといって、幸せ・不幸せに深い関係があることを頭から否定したり、無視したりすれば、たいへんな損をするかもしれません。

賞味期限とか?

みなさんは、なにか信仰していますか? おそらくほとんどの方は特には信仰してはいらっしゃらないでしょう。でも無宗教とはいっても、どの宗教とも全く無縁という人はいないですよ。

また、死ねば神様になれるとか、仏になれる、などと教えている宗教もありますが、そうした教えは……



死ねば
仏になるよ

神様になれるよ

仏様になれるよ

苦しんでいる人を死に追いやったり、信する人を自殺に導くことにもつながります。

人生を大きく左右

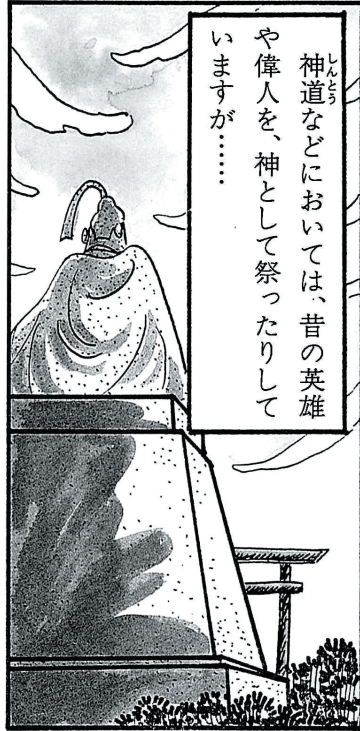
●先祖代々檀家として所属している寺院との関係
●お墓 ●冠婚葬祭 ●初詣 ●観光等……
また信仰を持っている皆さんは、本当に清い心で信じていることと思います。
でも、ちょっとここで考えていただきたいのですが、食べる物や飲む物などは、栄養バランス・添加物・賞味期限・値段等をあれこれよく見比べてから買う人も多いというのに、宗教はあまり比較検討もせずに、紹介者のいうことをうのみにして入信したり、無宗教の方も、機会があればどの宗教にも自然に手を合わせていませんか?
宗教は「成分」をきちんと調べなくても大丈夫なんでしょうか?

宗教の成分とは、●本尊 ●教義 ●修行法 でしょう。

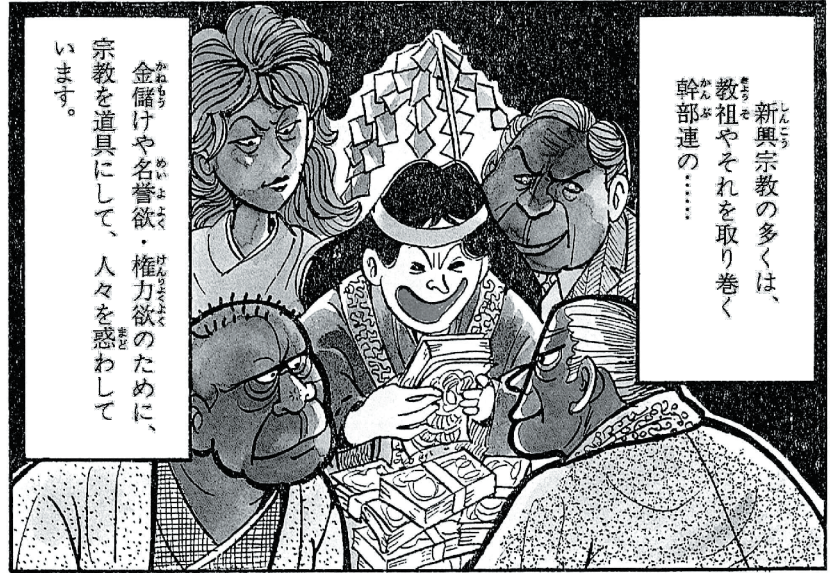
例えばダイオキシンのような毒物が飲食物に入っている、毎日の飲食では気がつかなくても長い間には取り返しのつかない病気になるってしまいます。宗教も同じで、本尊や教義、修行法に不純物や毒物が入っている、日々の生活では気がつかないうちにだんだんと「毒」が回ってきて、いつのまにか、仕事がない/借金だらけ/病氣/事故/けが/家庭不和/精神的な病/対人関係の悩み等など不幸な現象が多い生活になってしまうのです。

英雄や偉人は戦争や学問などで功績があった人で、人生の悩みをすべて解決した人ではない。来世は現世の続きだからそういう方々が死をもって『神』になり、”私たちの願いを叶えてくれる”というのはいささか不合理。

また、さきほどの毒が入っている飲食物でも毎回の食事の時には、おいしさや、満腹感といった快感はあるのと同様に、宗教でも●「少し病氣が良くなった」●「金回りが良くなった」●「精神的に楽になった」など、一時的には「御利益が出た!」と思える事は実際にある、まさかその宗教に猛毒があるとは思えない



神道などにおいては、昔の英雄や偉人を、神として祭ったりしていますが……



新興宗教の多くは、教祖やそれを取り巻く幹部連の……

金儲けや名誉欲・権力欲のために、宗教を道具にして、人々を惑わしています。

しないのです。

また猛毒はほんの少量でも人を死にいたらしめます。無宗教と云う人でも、何かの宗教に何気なく手を合わせたり、守り札を買ったり、賽銭をあげたりなどして、その「猛毒」を知らずうちに飲んでいくのです。

また、「先祖代々うちには○宗というだけで、特に真剣に信仰してない」という場合でも、これは実は恐ろしい事で、先祖からの宗教の影響はそれと知らずに、必ず生活上や人格上に良くない形で現れてきています。

不幸の原因?

このように宗教の影響は人生の幸・不幸を大きく左右していますから、「自分には関係ない」とか「信心は何でもいい」というわけにはいかないのです。
【宗教の害毒】は命の奥深いところへ染み込みますから、さまざまな不幸の根本原因となっています。今、みなさんがなにかしらの不幸や不運を感じているとすれば、その一番元、全く意識はできませんが【誤った宗教による害毒】があるのです。

不幸を好む人は誰もいません。今からもっと幸せになりたいと誰しも願っています。幸福になるためには今まで溜めてきた【宗教の害毒】を洗い流さなくてはなりません。この害毒は不純物や毒気の全く無い清浄な【真実最高の宗教】によってしか洗い流せないのです。

キリスト教は?

世の中には実にさまざまな宗教が存在しておりますが、まずこれらを「因果」(原因と結果の関係)をきちんととらえているかどうかを基準に比較対照してみると大きく仏教と仏教以外の教へと分けられます。仏教では「因果」を根本としておりますが、仏教以外の教では因果が明らかでなかったり、因果を無視し否定しています。この世の全ての事象の原因が明確になっていない教では私達を導くことは無理でしょう。

たとえばキリスト教では「神」の存在から全てが始まりますが、ではその神は何を原因として生じたのか? 何も明かされていません。また、イエス・キリストは処女マリアが身籠った(?!)とされていますが、果たしてこんなことが道理としてみなさん納得できるのでしょうか?

キリスト教に代表されるように、仏教以外の宗教は物事の原因について明確な答えの無い不完全なものと言わざるを得ません。よく医学でも「原因の分からない病氣は治せない」と言いますが、このような明確な因果の理を無視した、子供だましのおとぎ話のような教義では全ての人を完全な幸福境界に導く事は到底不可能でしょう。(これに類するものはイスラム教・天理教・神道など「神」を立てる宗教全般です。)

また、道徳や倫理を取り入れ、さも立派そうに見せていても、架空の神仏や、筋道の通らない教義を立てる宗教がありますが……



わが父
神様
見捨て
られた
のですか

これを信すれば、偽善者や「重人格者」になったり、実生活で笑いのない、悪い結果の人生となってしまいます。

仏教では？

みなさんは「仏教であれば同じお釈迦様の教えだ」と思っているようですが実はそうではないのです。お釈迦様は三十歳で悟りを得てから亡くなるまでの五十年間に膨大な教えを説いてますが、その四十二年目に説いた「無量義経」という教典の中で「これまでの四十年にある年月においては未だ真理の全て、核心を説き終わっていないのである」と述べています。そして、この無量義経に続き説かれた有名な「法華経（妙法蓮華経）」の中に

●「今こそまさにこれまでの方便の教え（仮の教え）を捨てて最高真理の教えを説く」とお釈迦様が自ら「法華経こそ最高真理の教えである」と述べているのです。

末法って？

「釈尊が亡くなって後、およそ二千年が過ぎると、末法」といつて人の心が非常に濁って泥沼のような時代が訪れる。その時は仏教も分裂・混乱し、世の中にも争いが相次いで釈尊の遺した仏法が民衆を救済する力を失ってしまふ。」と説かれているのです。

これが「末法」という時代です。現代はもちろん末法時代です。ですから今はお釈迦様が説いた全ての仏教の功徳力は失われ民衆を救う力は全く無いとお釈迦様自らが預言しているのです。それだけでなく末法にお釈迦様の仏教を信仰すると、例えば「二週間前に炊いた飯を今食べるようなもの（一時の満腹感だけはあがるが、必ず腹をこわす）」とか「去年のカレンダーを今年使うようなもの（生活が大混乱する）」とまで言われているのです。事実、紙札を家中に貼り、禪宗や真言宗、浄土宗や浄土真宗等の檀家総代等先祖代々熱心に続けてきたような家ほど、不慮の災難、病氣、自殺、家庭不和、身体障害などの深刻な苦悩に喘いでいます。そんな世の中でしょうか？

日蓮大聖人の仏法

日蓮大聖人は、貞応元年（一二二二）二月十六日安房国（千葉県）に御誕生になり、建長五年（一二五三）四月二十八日に、末法の真の法華経である大仏法の「南無妙法蓮華経」の宗旨を建立されました。その後大聖人は、命に及ぶほどの大難や二度の流罪など多くの法難（迫害）に遇いながらも「南無妙法蓮華経」を弘め、弘安二年（一二七九）十月十二日、私たち末法



仏教について

お釈迦様が仏として法を説き始めたのは三十歳の時でした。ところが、人々の仏法に対する理解力が非常に劣っていたため、真実の教えに導くのに……

仮の教え
いろいろなたとえ話
などを使って
導くことにしました。



お釈迦様は、七十二歳までに「華嚴」「阿含」「方等」「般若」といった教えを説きました。

これらは全て、人々を真実の教えに導くための、一時的な仮の教えだったのです。したがって、これらの教えを信仰している既成仏教では功徳がない、とお釈迦様自身が言っています。



お釈迦様は八十歳で亡くなりました。なお、お釈迦様は……

の人間が救われる「本門戒壇の大御本尊」を建立されました。

そして将来万年にわたってこの大仏法を流れ通すために日興上人を第二祖と定められ、大仏法の一切を付嘱（相伝）して、弘安五年十月十三日、六十一歳をもって御入滅されました。

以来七百有余年、日蓮大聖人の仏法は第二祖日興上人、第三祖日上人へと正しく受け継がれ現在の第六十七世日興上人に至るまで「日蓮正宗・富士大石寺」にのみ伝承と伝わっております。また、未来永劫にわたって人類救済の根本の御本尊であられる「本門戒壇の大御本尊」も厳然と富士大石寺奉安堂に居わします。

このように見てきますと仏教の正当門流であり、真の民衆救済の宗教はまさしく日蓮正宗のみなのであります。

効果はあるの？

では、日蓮正宗の大御本尊を信仰し、「南無妙法蓮華経」と唱えればどうなるのでしょうか？ 真実絶大な威力を持つ仏様の命と深いお悟りの当体である大御本尊と、私達の生命が感応し、私達の生命に仏界（仏様の命）という最高の生命力が湧き上がってきます。この仏界を元に生活すると、力強い活動力や不思議な智慧の働きを発揮し、人格も磨かれて、自然に人徳が備わ



つきの業病（医者で治せない病氣）すら克服できる。いわんやそれ以下の軽病はことごとく治癒していける。●寿命によって死すべき命も延ばすことができる。●淫欲盛んなものも自ずと欲を離れて正常になり、●短気で怒りっぽい性格、愚痴が多く嫉妬深い性格等も改まって立派な人格者へと向上していく。このような結果がでている信徒の方がたくさんいます。どうですか？ともどもに体験してみませんか？

日蓮正宗寺院へ

日蓮正宗には、総本山富士大石寺のほか全国各地や海外各国を含め七百を超える寺院があります。これらの寺院はいずれも日蓮大聖人の仏法をその地域において正しく守り伝え、弘めていく大事な意義をもっています。日蓮大聖人の仏法を信仰するには、日蓮正宗の寺院に参詣し、正しい教えを聞く事がまず第一歩です。

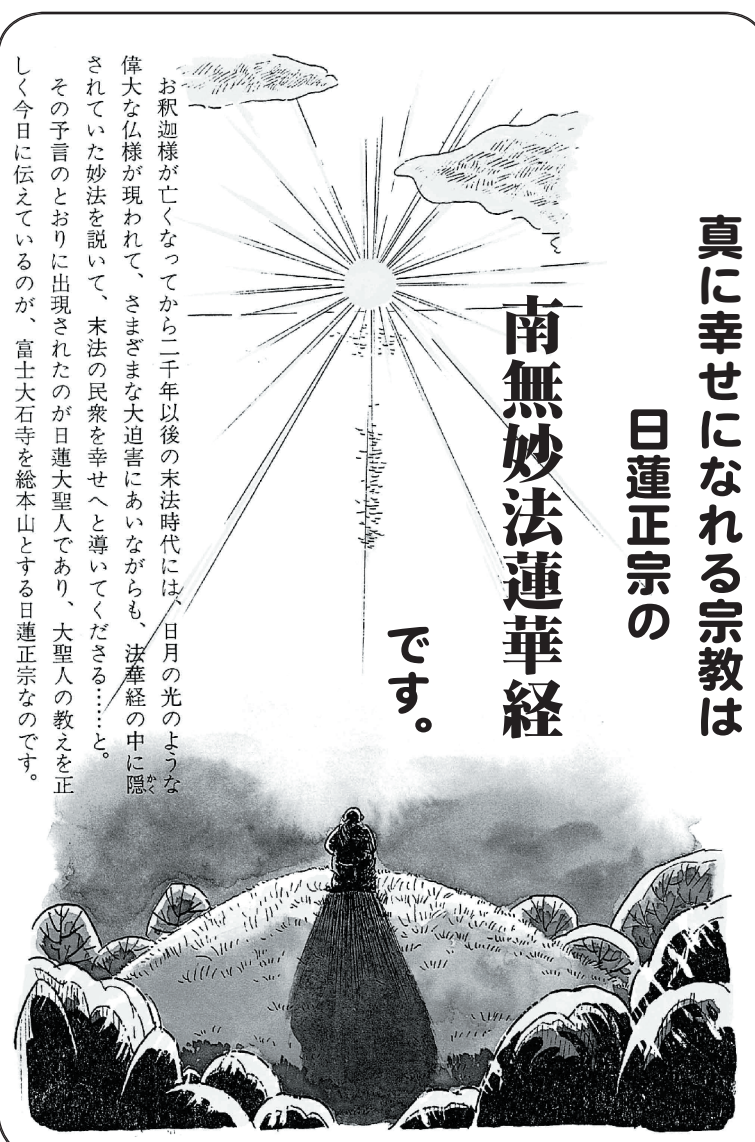
〒381-0042
長野市稲田 1-16-2
日蓮正宗信徒 樋田 昌志
090-3343-9338 toyoda@avis.ne.jp

真に幸せになれる宗教は

日蓮正宗の

南無妙法蓮華経

です。



その予言のとおり出現されたのが日蓮大聖人であり、大聖人の教えを正しく今日に伝えているのが、富士大石寺を総本山とする日蓮正宗なのです。